



2014年8月1日

各位

会社名：東京瓦斯株式会社  
代表者名：代表取締役社長 広瀬道明  
（コード：9531 東証・名証第1部）  
問合せ先：財務部IRグループマネージャー 坂田 一  
（TEL.：(03) - 5400 - 3888）

**2015年3月期 第1四半期決算 アナリスト向け決算説明資料**

標記アナリスト向け決算説明資料を、添付のとおり公表いたします。

以上

2014年度第1四半期決算説明会



2014年7月31日

---

## 1. 2014年度第1四半期決算実績概要

---



# 2014年度1Q実績(2014.4.1 - 2014.6.30) <対前年度実績>

## ポイント 増収増益

(+、-、+/-、▲は利益に対する影響を示す、億円)

<b>売上高</b>	+604	:	+	都市ガス売上増	(+453:数量差+186、単価差+266(スライド差+295、料金改定▲44等))	
			+	電力売上増	(+127:単価差+53、数量差+74)	
			+	海外売上増	(+39:プルート収益増、バーネット新規連結他)	スライドタイムラグ差 +141
<b>営業費用</b>	▲404	:	-	都市ガス原材料費増	(▲340:数量差▲172、単価差▲168(為替▲63、油価+13、価格改定他))	
			-	電力燃料費増	(▲81:単価差▲30、数量差▲51)	
<b>営業利益</b>	+201	:	+	都市ガス利益増	(+118:ガス粗利+112(数量差+14(気温影響▲9)、単価差+98(スライド差+141、料金改定▲44等))	
			+	電力利益増	(+47:電力粗利+47(単価差+23、数量差+23))	
			+	海外利益増	(+17:プルート利益増等)	
<b>特別損益</b>	+49	:	+	固定資産(土地)売却益+54等		

(単位: 億円)

	2014年度1Q	2013年度1Q	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	3,657	3,387	+270	+8.0%
売上高	5,340	4,736	+604	+12.8%
営業費用	4,740	4,336	+404	+9.3%
営業利益	600	399	+201	+50.3%
経常利益…①	596	396	+200	+50.5%
当期純利益	447	260	+187	+71.8%
気温影響…②	▲38	▲29	▲9	—
スライドタイムラグ…③	111	▲30	+141	—
年金数理差異償却額…④	7	▲5	+12	—
補正経常利益①-(②+③+④)	516	460	+56*	+12.2%
補正当期純利益	391	302	+89	+29.5%

※+56:ガス販売量増+23(気温影響▲9控除後)、料金改定▲44、電力+47、海外+17、その他のセグメント利益他+13

(億円)

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	2014年度1Q	2013年度1Q	増減	%
14年度1Q	102.17	109.52	17.8	388	803	▲415	▲51.6%
13年度1Q	98.78<+3.39>	107.75<+1.77>	17.5<+0.3>				

※前年度バーネット430の剥落

年金運用実績(2014年度1Q末現在):1.62% (年間期待運用収益率2.0%)

# 連結ガス販売量実績

## 前年度実績 → 今年度実績

**+270百万m<sup>3</sup> (+8.0%)の増加**  
 [うち気温影響▲8百万m<sup>3</sup>, ▲0.2%の減少]

<b>■ 家庭用</b> ▲2百万m <sup>3</sup> (▲0.3%) ●気温要因 ▲13百万m <sup>3</sup> ●日数影響 ▲6百万m <sup>3</sup> ●お客さま件数 +12百万m <sup>3</sup> ●その他 +5百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> ▲5百万m <sup>3</sup> (▲0.9%) ●気温要因 +7百万m <sup>3</sup> ●日数影響 ▲6百万m <sup>3</sup> ●お客さま件数 ▲0百万m <sup>3</sup> ●その他 ▲6百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> +273百万m <sup>3</sup> (+18.4%) ●一般工業用: +10百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増 +22百万m <sup>3</sup> ●発電専用: +262百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増 +284百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +5百万m <sup>3</sup> (+1.0%) ●気温要因 ▲1百万m <sup>3</sup> ●その他 +6百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

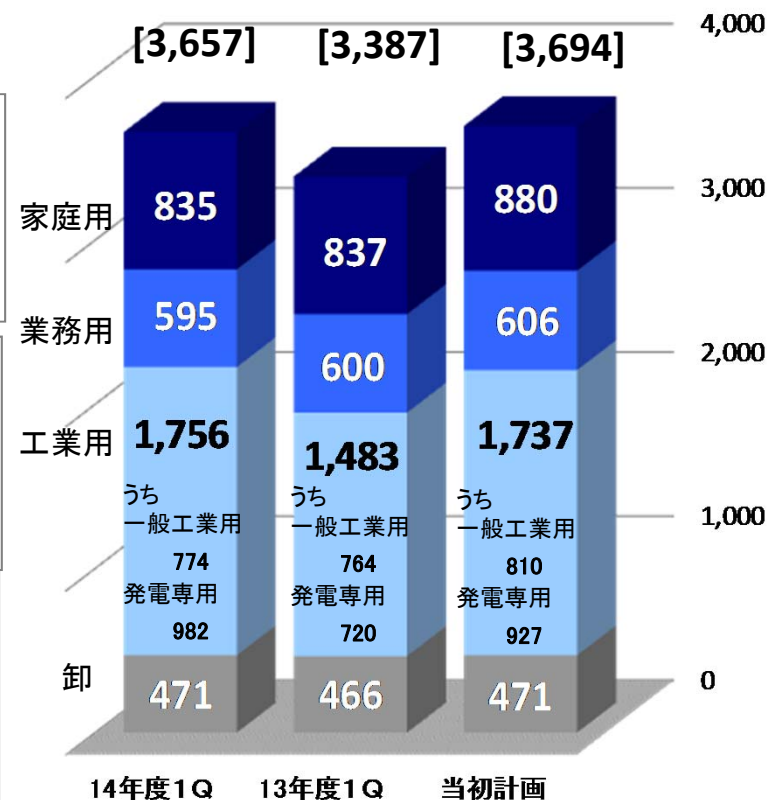
## 当初計画 → 今年度実績

**▲37百万m<sup>3</sup> (▲1.0%)の減少**  
 [うち気温影響▲58百万m<sup>3</sup>, ▲1.6%の減少]

<b>■ 家庭用</b> ▲45百万m <sup>3</sup> (▲5.1%) ●気温要因 ▲52百万m <sup>3</sup> ●日数影響 ▲2百万m <sup>3</sup> ●お客さま件数 +2百万m <sup>3</sup> ●その他 +7百万m <sup>3</sup>
<b>■ 業務用</b> ▲11百万m <sup>3</sup> (▲1.8%) ●気温要因 ▲2百万m <sup>3</sup> ●日数影響 0百万m <sup>3</sup> ●お客さま件数 ▲3百万m <sup>3</sup> ●その他 ▲6百万m <sup>3</sup>
<b>■ 工業用</b> +19百万m <sup>3</sup> (+1.1%) ●一般工業用: ▲36百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区以外減 ▲39百万m <sup>3</sup> ●発電専用: +55百万m <sup>3</sup> うち鹿島地区増 +55百万m <sup>3</sup>
<b>■ 卸</b> +0百万m <sup>3</sup> (+0.0%) ●気温要因 ▲4百万m <sup>3</sup> ●その他 +4百万m <sup>3</sup> 卸供給事業者需要増等

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)



	14年度1Q	13年度1Q	増減
LNG液販売量(千t)	198	211	▲13
平均気温(°C)	17.8	17.5	+0.3

お客さま件数(万件)

14年度1Q	13年度1Q	増減
1,113.7	1,099.5	+14.2(+1.3%)

# トーリング移行込みガス販売量変化

## 2014年度1Q実績

### ●トーリングによるガス使用量込

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

	14年度 1Q	13年度 1Q	増減	当初計画	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	3,657	3,387	+270 +8.0%	3,694	▲37 ▲1.0%
トーリングによる ガス自家使用量	414	324	+90 +27.8%	413	+1 +0.2%
合計	4,071	3,711	+360 +9.7%	4,107	▲36 ▲0.9%

### ●工業用ガス販売量内訳 (単位:百万m<sup>3</sup>)

	鹿島地区	その他地区	合計
発電専用	342	640	982
(対13年度1Q)	+284(+491.2%)	▲22(▲3.3%)	+262(+36.5%)
(対当初計画)	+55(+19.4%)	▲1(▲0.0%)	+55(+6.0%)
一般工業用	52	722	774
(対13年度1Q)	+22(+70.0%)	▲11(▲1.6%)	+10(+1.3%)
(対当初計画)	+3(+5.2%)	▲39(▲5.1%)	▲36(▲4.5%)
合計	394	1,362	1,756
(対13年度1Q)	+306(+345.9%)	▲33(▲2.4%)	+273(+18.4%)
(対当初計画)	+58(+17.3%)	▲39(▲2.8%)	+19(+1.1%)

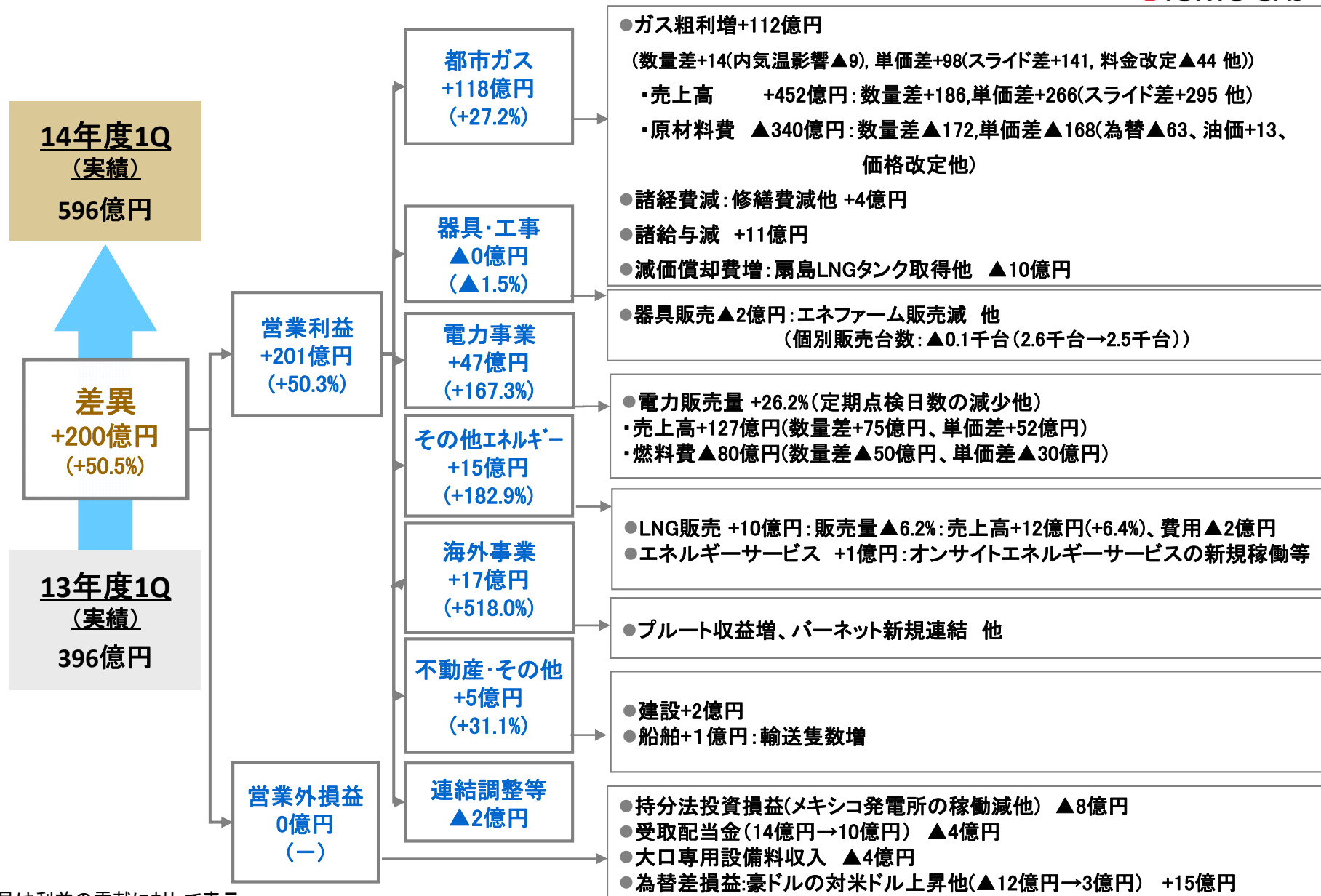
## 2014年度1Q実績 セグメント別売上高・営業損益<対前年度実績>

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2014年度 1Q	2013年度 1Q	増減	%	2014年度 1Q	2013年度 1Q	増減	%
都市ガス	3,898	3,445	453	13.2%	553	435	118	27.2%
器具及びガス工事	403	423	▲20	▲4.7%	6	6	▲0	▲1.5%
その他エネルギー	975	794	181	22.7%	97	35	62	170.7%
(電力事業)	412	285	127	44.7%	74	27	47	167.3%
不動産	65	73	▲8	▲10.3%	16	16	0	4.1%
その他	460	405	55	13.4%	28	6	22	373.6%
(海外事業)	76	37	39	101.1%	20	3	17	518.0%
調整額	▲463	▲406	▲57	—	▲102	▲100	▲2	—
連結	5,340	4,736	604	12.8%	600	399	201	50.3%

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度1Q実績 経常利益分析 <対前年度実績>



※符号は利益の貢献に対して表示



---

## 2. 2014年度 通期見通し

---



# 2014年度通期見通し (2014.4.1 - 2015.3.31) <対当初計画(4月28日発表)>

## 通期見通しのポイント 減収増益

(+/-, +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

<b>売上高</b>	▲100	:	-	都市ガス売上減	(▲77:数量差+3,単価差▲81(スライド差▲81))	
			-	電力売上減	(▲12:数量差+3,単価差▲15)	
			-	LNG販売売上減	(▲17:数量差▲9,単価差▲8)	スライドタイムラグ差 +47
<b>営業費用</b>	+130	:	+	都市ガス原材料費減	(+94 :数量差▲34、単価差+128(為替+68、油価+9他))	
			+	電力燃料費減	(+14 :数量差▲2、単価差+16 )	
			+	LNG販売原料費減	(+18 :数量差+9、単価差+9)	
<b>営業利益</b>	+30	:	+	都市ガス利益増	(+17 :ガス粗利+16(数量差▲31(内気温影響▲38)、単価差+47(スライド差+47) )	
			+	海外利益増	(+13 :プルート利益増、QCLNG他)	
<b>特別損益</b>	+8	:	+	用地売却+13、有価証券評価損▲5		(単位:億円)

	今回見通し	当初計画(4/28)	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,326	15,266	+60	+0.4%	14,735	+591	+4.0%
売上高	22,880	22,980	▲100	▲0.4%	21,121	+1,759	+8.3%
営業費用	21,550	21,680	▲130	▲0.6%	19,460	+2,090	+10.7%
営業利益	1,330	1,300	+30	+2.3%	1,660	▲330	▲19.9%
経常利益...①	1,260	1,230	+30	+2.4%	1,596	▲336	▲21.1%
当期純利益	970	940	+30	+3.2%	1,084	▲114	▲10.6%
気温影響...②	▲38	0	▲38	—	▲25	▲13	—
スライドタイムラグ...③	35	▲12	+47	—	164	▲129	—
年金数理差異償却額...④	30	30	0	—	▲22	+52	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	1,233	1,212	+21*	+1.7%	1,479	▲246	▲16.6%
補正当期純利益	951	927	+24	+2.6%	1,007	▲56	▲5.6%

※+21:ガス販売量増+7(気温影響▲38控除後)、海外+13、その他のセグメント利益増他+1

年間期待運用収益率:2%

経済フレーム(通年)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	年金	運用利回※コスト控除後	割引率	期末資産(億円)	
今回見通し	104.29	109.88	16.9	2013年度	1.61%	1.5%	2,730	
前回見通し	105.00(▲0.71)	110.00(▲0.12)	16.6(+0.3)	2012年度	6.10%	1.4%	2,760	
2013年度	100.17<+4.12>	110.00<▲0.12>	17.0<▲0.1>	(単位:億円)				
				設備投資	今回見通し	当初計画	増減	%
				2014年度	2,370	2,370	0	0.0%

( )内対前回増減、<>内対前年度増減

# 連結ガス販売量見通し

## 当初計画 → 今回見通し

**+60百万m<sup>3</sup> (+0.4%)の増加**

[うち気温影響▲58百万m<sup>3</sup>,▲0.4%の減少]

■ <b>家庭用</b>	▲40百万m <sup>3</sup> (▲1.2%)
● 気温要因	▲52百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲2百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+6百万m <sup>3</sup>
● その他	+7百万m <sup>3</sup>

■ <b>業務用</b>	▲20百万m <sup>3</sup> (▲0.7%)
● 気温要因	▲2百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲0百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+9百万m <sup>3</sup>
● その他	▲27百万m <sup>3</sup>

■ <b>工業用</b>	+120百万m <sup>3</sup> (+1.7%)
● 一般工業用:	▲152百万m <sup>3</sup>
うち鹿島地区以外減	▲155百万m <sup>3</sup>
● 発電専用:	+272百万m <sup>3</sup>
うち鹿島地区以外増分	+172百万m <sup>3</sup>

■ <b>卸</b>	▲1百万m <sup>3</sup> (▲0.0%)
● 気温要因	▲4百万m <sup>3</sup>
● その他	+3百万m <sup>3</sup>
卸供給事業者需要増等	

## 前年度実績 → 今回見通し

**+591百万m<sup>3</sup> (+4.0%)の増加**

[うち気温影響▲45百万m<sup>3</sup>,▲0.3%の減少]

■ <b>家庭用</b>	+5百万m <sup>3</sup> (+0.1%)
● 気温要因	▲4百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲12百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+48百万m <sup>3</sup>
● その他	▲27百万m <sup>3</sup>

■ <b>業務用</b>	▲70百万m <sup>3</sup> (▲2.5%)
● 気温要因	▲41百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲12百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	0百万m <sup>3</sup>
● その他	▲17百万m <sup>3</sup>

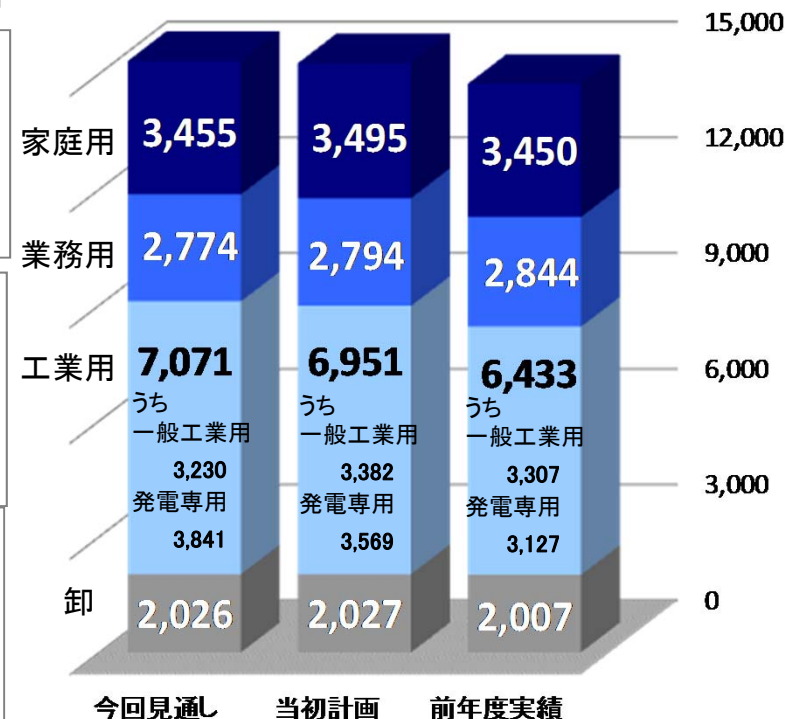
■ <b>工業用</b>	+638百万m <sup>3</sup> (+9.9%)
● 一般工業用:	▲77百万m <sup>3</sup>
うち鹿島地区以外減	▲100百万m <sup>3</sup>
(前年度鉄鋼駆け込み需要の剥落)	
● 発電専用:	+714百万m <sup>3</sup>
うち鹿島地区増分	+819百万m <sup>3</sup>

■ <b>卸</b>	+19百万m <sup>3</sup> (+0.9%)
● 気温要因	▲0百万m <sup>3</sup>
● その他	+19百万m <sup>3</sup>
卸供給事業者需要増等	

ガス販売量:

(百万m<sup>3</sup>以下四捨五入)

[15,326] [15,266] [14,735]



	今回見通し	当初計画	増減
LNG液販売量(千t)	955	965	▲10
平均気温(°C)	16.9	16.6	+0.3

### お客さま件数(万件)

	今回見通し	当初計画	増減
	1,123.8	1,123.7	+0.1(+0.0%)

# トーリング込みガス販売量変化

## 2014年度見通し

### ●トーリングによるガス使用量込

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

	今回 見通し	当初計画	増減	前年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,326	15,266	+60 +0.4%	14,735	+591 +4.0%
トーリングによる ガス自家使用量	1,664	1,666	▲2 ▲0.1%	1,510	+154 +10.2%
合計	16,990	16,932	+58 +0.3%	16,245	+745 +4.6%
2020ビジョンベース	18,184	18,138	+46	17,225	+959

### ●工業用ガス販売量内訳 (単位:百万m<sup>3</sup>)

	鹿島地区	その他地区	合計
発電専用	1,400	2,441	3,841
(対当初計画)	+101(+7.7%)	+172(+7.6%)	+272(+7.6%)
(対前年実績)	+819(+140.9%)	▲105(▲4.1%)	+714(+22.8%)
一般工業用	208	3,022	3,230
(対当初計画)	+3(+1.2%)	▲155(▲4.9%)	▲152(▲4.5%)
(対前年実績)	+24(+12.8%)	▲100(▲3.2%)	▲77(▲2.3%)
合計	1,608	5,464	7,071
(対前回見通し)	+103(+6.8%)	+18(+0.3%)	+120(+1.7%)
(対前年実績)	+843(+110.0%)	▲204(▲3.6%)	+638(+9.9%)

## 2014年度見通し セグメント別売上高・営業損益 <対当初計画(4月28日発表)>



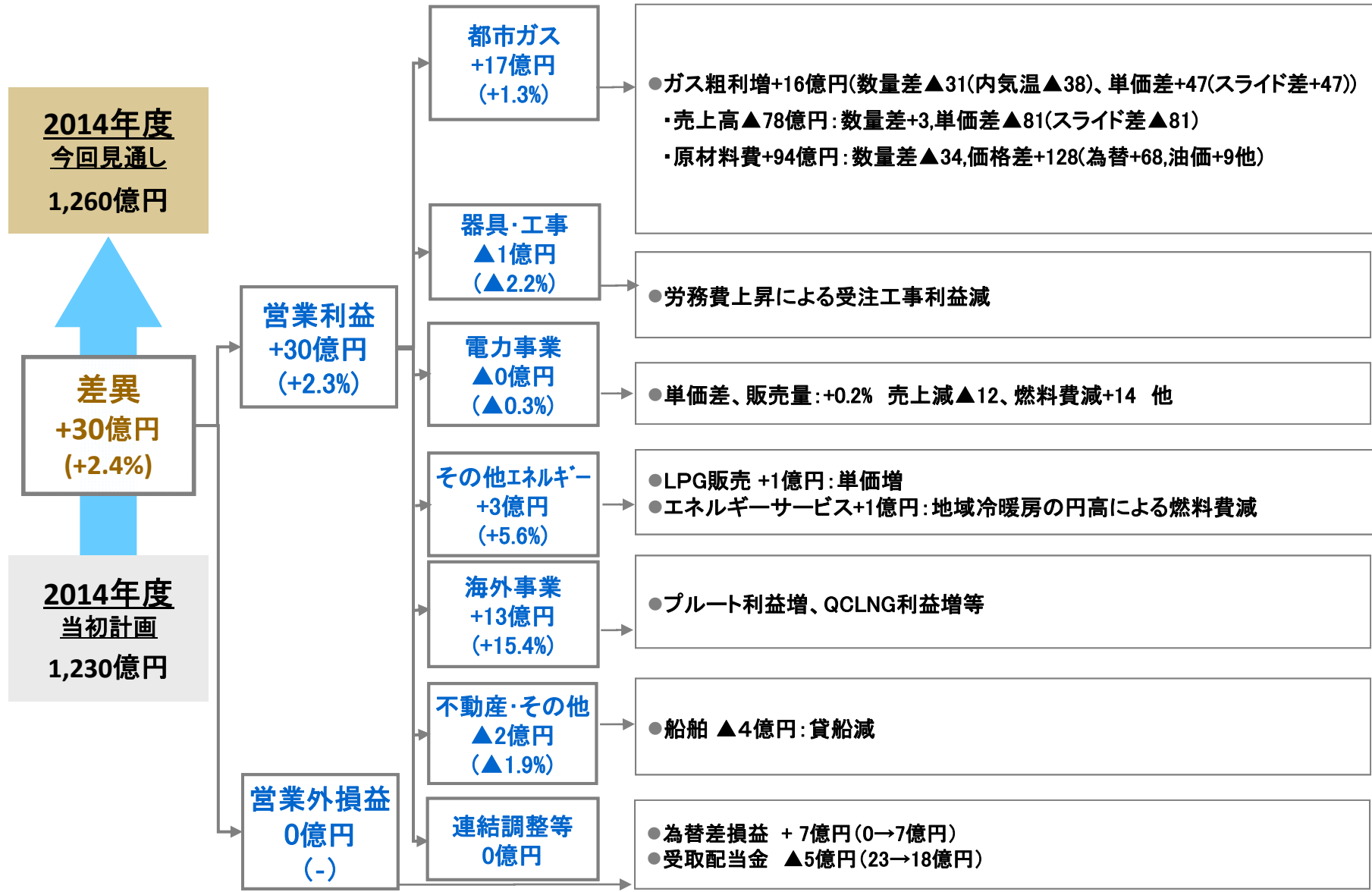
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	当初計画	増減	%	今回見通し	当初計画	増減	%
都市ガス	16,259	16,336	▲77	▲0.5%	1,288	1,271	+17	+1.3%
器具及びガス工事	2,099	2,100	▲1	▲0.0%	44	45	▲1	▲2.2%
その他エネルギー	4,146	4,170	▲24	▲0.6%	224	221	+3	+1.4%
(電力事業)	1,636	1,648	▲12	▲0.7%	159	159	▲0	▲0.3%
不動産	241	241	0	0.0%	39	38	+1	+2.6%
その他	2,093	2,102	▲9	▲0.4%	158	148	+10	+6.8%
(海外事業)	348	345	+3	+0.8%	96	83	+13	+15.4%
調整額	▲1,958	▲1,969	11	—	▲423	▲423	0	—
連結	22,880	22,980	▲100	▲0.4%	1,330	1,300	+30	+2.3%

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度見通し 経常利益分析 <対当初計画(4月28日発表)>

(単位: 億円)



※符号は利益の貢献に対して表示

## 2014年度見通し セグメント別売上高・営業損益 <対前年度実績>

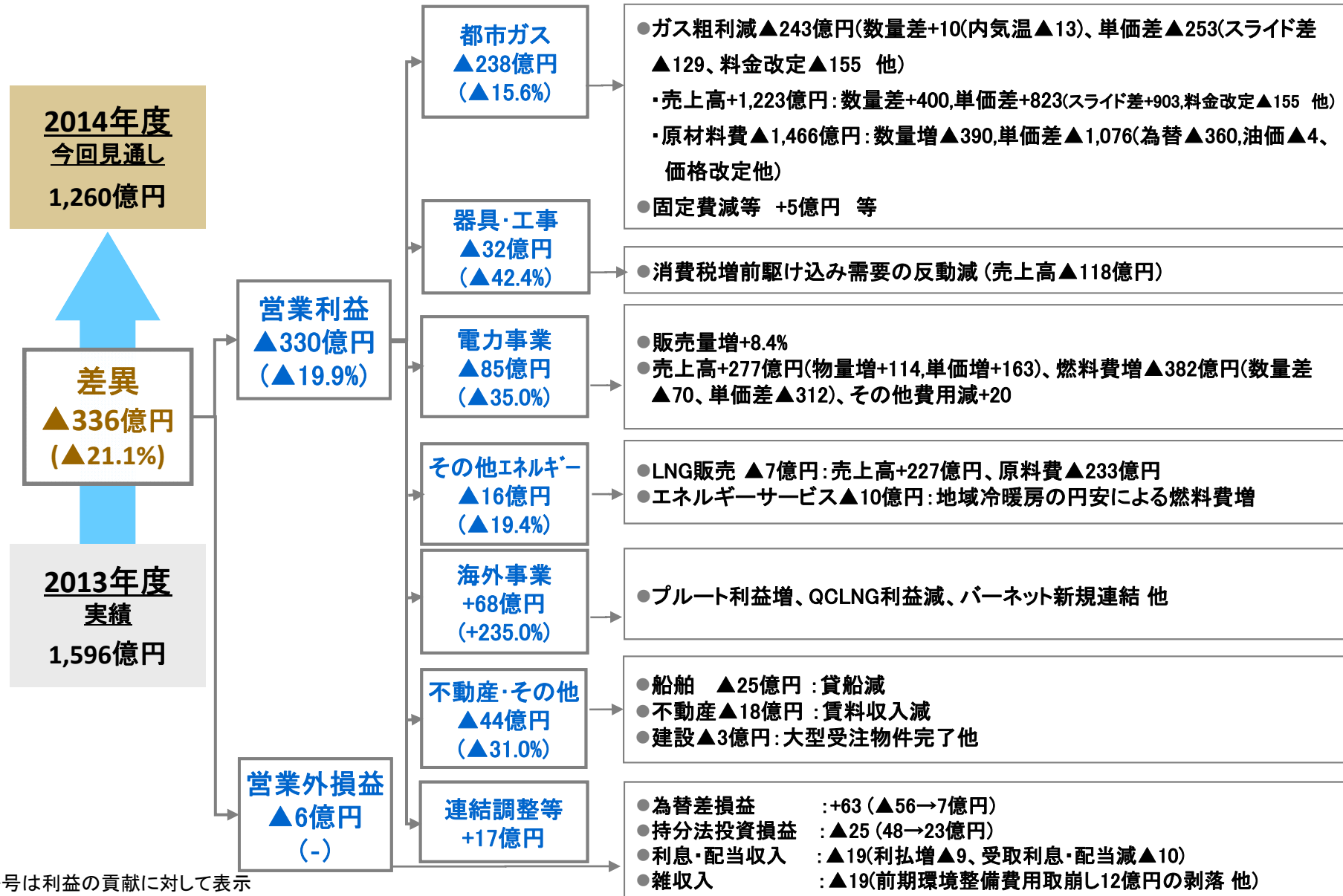
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	今回見通し	前年度実績	増減	%	今回見通し	前年度実績	増減	%
都市ガス	16,259	15,051	+1,208	+8.0%	1,288	1,526	▲238	▲15.6%
器具及びガス工事	2,099	2,217	▲118	▲5.3%	44	76	▲32	▲42.4%
その他エネルギー	4,146	3,575	+571	+15.9%	224	325	▲101	▲31.1%
(電力事業)	1,636	1,359	+277	+20.4%	159	244	▲85	▲35.0%
不動産	241	283	▲42	▲14.9%	39	57	▲18	▲31.6%
その他	2,093	1,993	+100	+5.0%	158	116	+42	+35.1%
(海外事業)	348	221	+127	+57.5%	96	28	+68	+235.0%
調整額	▲1,958	▲1,998	+40	—	▲423	▲440	+17	—
連結	22,880	21,121	+1,759	+8.3%	1,330	1,660	▲330	▲19.9%

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度見通し 経常利益分析 <対前年度実績>

(単位: 億円)



※符号は利益の貢献に対して表示



# 主要計数表(連結)

(単位: 億円)

	2014年度 今回見通し	2014年度 当初見通し	2013年度 実績
総資産 (a)	22,320	22,260	21,768
自己資本 (b)	10,360	10,300	10,117
自己資本比率 (b)/(a)	46.4%	46.3%	46.5%
有利子負債 (c)	7,710	7,730	7,138
D/E レシオ (c)/(b)	0.74	0.75	0.71
当期純利益 (d)	970	940	1,084
減価償却 (e)	1,420	1,420	1,403
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,390	2,360	2,488
設備投資 (Capex)	2,370	2,370	2,480
ROA: (d) / (a)	4.4%	4.3%	5.2%
ROE: (d) / (b)	9.5%	9.2%	11.2%
TEP	244	233	507
WACC	3.5%	3.6%	3.2%*
総分配性向	60%程度予定	60%程度予定	60.0%

注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分  
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益  
 \* 発行済株式総数: 2,446,778,295株(2014年7月31日現在)

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について  
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)  
 WACC 算定諸元 (2014年度見通し)  
 ・有利子負債コスト 実績金利 1.1% (税引後)  
 ・株主資本コスト率  
   ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.8%  
   ・リスクプレミアム 5.5% β 値 0.75 (※2013年度までリスクプレミアム 4%)  
   ・資本金 = 時価総額

---

### 3. 2014年度 上期見通し

---



# 2014年度上期見通し (2014.4.1 - 2014.9.30) <対当初計画(4月28日発表)>

## 上期見通しのポイント 減収増益

(+ - , +/-▲は利益に対する影響を示す, 億円)

<b>売上高</b>	▲100	-	都市ガス売上減	(▲79:数量差▲30、単価差▲49(スライド差▲49))	---
			LNG販売売上減	(▲10:数量差他)	
			電力売上減	(▲6:単価差他)	
<b>営業費用</b>	+120	+	都市ガス原材料費減	(+89:数量差▲18、単価差+107(為替+67、油価+8他))	---
			LNG販売費用減	(+13:数量差、単価差)	
			電力費用減	(+10:単価差他)	
<b>営業利益</b>	+20	+	都市ガス利益増	(ガス粗利+10(内数量差▲48(内気温影響▲38)、単価差+58(スライド差+58))	---
			LNG販売利益増	(+4:単価差他)	
			電力利益増	(+5:単価差他)	

スライドタイムラグ差 +58

(単位:億円)

	今回見通し	当初計画(4/28)	増減	%	前年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	7,136	7,118	+18	+0.3%	6,673	+463	+6.9%
売上高	10,330	10,430	▲100	▲1.0%	9,335	+995	+10.7%
営業費用	9,700	9,820	▲120	▲1.2%	8,650	+1,050	+12.1%
営業利益	630	610	+20	+3.3%	685	▲55	▲8.0%
経常利益...①	620	600	+20	+3.3%	649	▲29	▲4.6%
当期純利益	530	500	+30	+6.0%	427	+103	+23.9%
気温影響...②	▲38	0	▲38	—	▲42	+4	—
スライドタイムラグ...③	105	47	+58	—	109	▲4	—
年金数理差異償却額...④	15	15	0	—	▲11	+26	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	538	538	0*	0.0%	593	▲55	▲9.3%
補正当期純利益	473	457	+16	+3.5%	390	+83	+21.3%

※0:ガス販売量▲10(気温影響38控除後)、電力+5、その他セグメント利益他+5

(単位:億円)

経済フレーム (上期平均)	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今回見通し	103.59	109.76	22.0
当初計画	105.00(▲1.41)	110.00(▲0.24)	21.4(+0.6)
2013年度	98.86<+4.73>	107.66<+2.10>	22.3<▲0.3>

設備投資	今回見通	当初計画	増減	%
2014年度上期	990	990	0	0.0%

( )内対前回増減、<>内対前年度増減

# 連結ガス販売量上期見通し

## 当初計画 → 今回見通し

**+18百万m<sup>3</sup> (+0.3%)の増加**

[うち気温影響▲58百万m<sup>3</sup>, ▲0.8%の減少]

<b>■ 家庭用</b>	<b>▲44百万m<sup>3</sup> (▲3.3%)</b>
● 気温要因	▲52百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲2百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+ 2百万m <sup>3</sup>
● その他	+ 7百万m <sup>3</sup>

<b>■ 業務用</b>	<b>▲13百万m<sup>3</sup> (▲1.0%)</b>
● 気温要因	▲2百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	0百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+1百万m <sup>3</sup>
● その他	▲12百万m <sup>3</sup>

<b>■ 工業用</b>	<b>+75百万m<sup>3</sup> (+2.1%)</b>
● 一般工業用:	▲90百万m <sup>3</sup>
うち鹿島地区以外減	▲93百万m <sup>3</sup>
● 発電専用:	+165百万m <sup>3</sup>
うち鹿島地区増	+101百万m <sup>3</sup>

<b>■ 卸</b>	<b>+0百万m<sup>3</sup> (+0.0%)</b>
● 気温要因	▲4百万m <sup>3</sup>
● その他	+4百万m <sup>3</sup>
卸供給事業者需要増等	

## 前年度実績 → 今回見通し

**+463百万m<sup>3</sup> (+6.9%)の増加**

[うち気温影響▲15百万m<sup>3</sup>, ▲0.2%の減少]

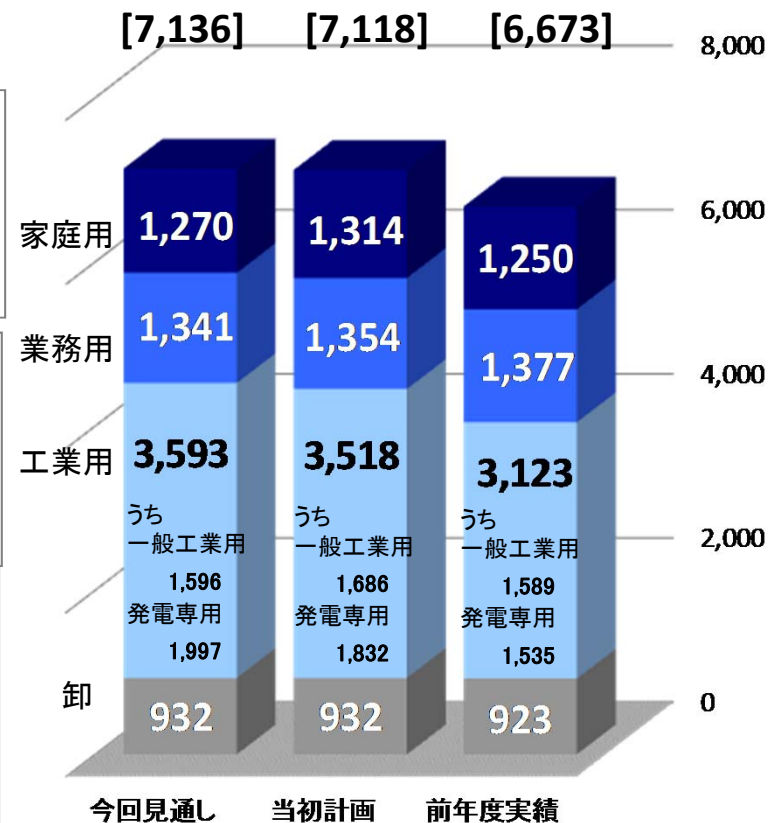
<b>■ 家庭用</b>	<b>+20百万m<sup>3</sup> (+1.6%)</b>
● 気温要因	+6百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲6百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	+19百万m <sup>3</sup>
● その他	+2百万m <sup>3</sup>

<b>■ 業務用</b>	<b>▲36百万m<sup>3</sup> (▲2.6%)</b>
● 気温要因	▲22百万m <sup>3</sup>
● 日数影響	▲6百万m <sup>3</sup>
● お客さま件数	0百万m <sup>3</sup>
● その他	▲8百万m <sup>3</sup>

<b>■ 工業用</b>	<b>+470百万m<sup>3</sup> (+15.0%)</b>
● 一般工業用:	+7百万m <sup>3</sup>
うち鹿島地区増	+30百万m <sup>3</sup>
● 発電専用:	+462百万m <sup>3</sup>
うち鹿島地区増	+517百万m <sup>3</sup>

<b>■ 卸</b>	<b>+9百万m<sup>3</sup> (+1.0%)</b>
● 気温要因	+2百万m <sup>3</sup>
● その他	+7百万m <sup>3</sup>
卸供給事業者需要増等	

ガス販売量:



	今回見通し	当初計画	増減
LNG液販売量(千t)	393	399	▲6
平均気温(°C)	22.0	21.4	+0.6

# トーリング移行込みガス販売量変化

## 2014年度上期見通し

### ●トーリングによるガス使用量込

百万m<sup>3</sup>, 45MJ/m<sup>3</sup>

	今回 見通し	当初計画	増減	前年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	7,136	7,118	+18 +0.3%	6,673	+463 +6.9%
トーリングによる ガス自家使用量	845	847	▲2 ▲0.3%	743	+102 +13.6%
合計	7,981	7,965	+16 +0.2%	7,416	+565 +7.6%

### ●工業用ガス販売量内訳 (単位:百万m<sup>3</sup>)

	鹿島地区	その他地区	合計
発電専用	713	1,284	1,997
(対当初計画)	+101(+16.4%)	+65(+5.3%)	+165(+9.0%)
(対前年実績)	+517(+263.1%)	▲55(▲4.1%)	+462(+30.1%)
一般工業用	101	1,495	1,596
(対当初計画)	+3(+2.6%)	▲93(▲5.9%)	▲90(▲5.4%)
(対前年実績)	+30(+41.7%)	▲22(▲1.5%)	+7(+0.4%)
合計	814	2,779	3,593
(対当初計画)	+103(+14.5%)	▲28(▲1.0%)	+75(+2.1%)
(対前年実績)	+546(+204.2%)	▲77(▲2.7%)	+470(+15.0%)

---

## 4. 参考資料

---

# 原油価格・為替レート変動の営業利益影響感度

## 原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

		収支影響時期			
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第2四半期	▲3	▲7	+11	+1
	第3四半期	—	▲4	▲10	▲14
	第4四半期	—	—	▲6	▲6
	通期	▲3	▲11	▲5	▲19

## 円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

		収支影響時期			
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第2四半期	▲11	+8	+3	0
	第3四半期	—	▲12	+14	+2
	第4四半期	—	—	▲17	▲17
	通期	▲11	▲4	0	▲15



#### <見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

#### <資料における計算方法>

数値は切り捨て、四捨五入をしていますが、変化率は実数で計算しているため、表上での計算が一致しないことがあります。

TSE:9531

---



# 参考資料

	ページ
実績編	
・ 連結 主要決算数値（14年度対13年度）	1
・ 個別 主要決算数値（14年度対13年度）	2
・ 個別 営業主要計数（14年度対13年度）	3
・ 連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳	4
見通し編	
・ 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度	5
・ 連結 主要決算数値（最新見通し対当初見通し）	6
・ 個別 主要決算数値（最新見通し対当初見通し）	7・9
・ 個別 営業主要計数（最新見通し対当初見通し）	8・10
・ 連結 営業キャッシュフロー及び設備投資内訳	11

# 実績編

## 連結 主要決算数値(14年度 対 13年度)

### 第1四半期実績

億円

	FY14 1Q	FY13 1Q	増減		備考
売上高	5,340	4,736	604	12.8%	都市ガス+453(単価増、販売量増)、その他エネルギー+181(電力+127、LNG販売+12)
営業利益	600	399	201	50.3%	都市ガス+118、その他エネルギー+62、その他+22(海外+17)
経常利益	596	396	200	50.5%	
当期純利益	447	260	187	71.8%	[当期]固定資産売却益+54、投資有価証券評価損▲5

総資産	21,093	21,768	▲ 675	▲3.1%	流動資産▲610(譲渡性預金▲740)、投資その他の資産▲62
自己資本	9,994	10,117	▲ 123	▲1.2%	当期純利益447、自己株式市場買付▲399、配当金支払▲125、為替換算調整勘定▲48
自己資本比率 (%)	47.4%	46.5%	0.9	—	総資産の減少率(▲3.1%)に対し、自己資本の減少率(▲1.2%)が小さかったため上昇
総資本回転率 (回転)	0.25	0.24	0.01	—	
有利子負債残高	7,464	7,138	326	4.6%	東京ガス+341
当期純利益	447	260	187	71.8%	
減価償却(*2・3)	336	324	12	3.7%	東京ガス+10(個別ベース)
営業キャッシュ・フロー(*1)	783	584	199	34.1%	
設備投資(*2)	388	803	▲ 415	▲51.6%	TGパーネット▲430(個別ベース)
1株当たり当期純利益 (円/株)	18.11	10.29	7.82	76.0%	当期純利益増(+187)により上昇
1株当たり純資産 (円/株)	409.56	402.91	6.65	1.7%	

FY14 1Q数値は、P/Lの項目は前年同四半期数値を表示、B/Sの項目は前期末数値を表示

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*3)減価償却には長期前払費用償却を含む

# 個別 主要決算数値(14年度 対 13年度)

## 第1四半期実績

億円

### 料金スライドの収支への影響

億円

### 経済フレーム

	FY14 1Q	FY13 1Q	増減	
総売上高	4,935	4,318	617	14.3%
営業利益	489	359	130	36.1%
経常利益	529	381	148	38.6%
当期純利益	387	259	128	49.2%

	FY14 1Q	FY13 1Q	増減
料金によるスライド回収	188	-107	295
原料費の増加分	80	-79	159
差し引き	108	-28	136

	FY14 1Q	FY13 1Q	増減
原油価格	109.52	107.75	1.77 \$/bbl
為替レート	102.17	98.78	3.39 円/\$

金額は基準価格に対する増減額

億円

	FY14 1Q	FY13 1Q	増減			
製品売上高(ガス売上高)	3,806	3,356	450	13.4%	数量・料金構成差+184億円、単価差+266億円	
営業費用	原材料費	2,384	2,046	338	16.5%	数量・原料構成差+170億円、単価差+168億円(為替影響=+63、油価影響=▲13)
	(粗利)	(1,422)	(1,310)	(112)	(8.5%)	数量・構成差+14億円、単価差+98億円
	諸給与	216	231	-15	-6.5%	数理計算上の差異費用▲12億円 他
	諸経費	560	560	0	0.0%	詳細は下表参照
	減価償却費	244	234	10	4.4%	本支管他新規取得に伴う増他+10億円
	LNG受託加工費	-11	-11	0	-	
計	3,394	3,061	333	10.9%		
受注工事収支	-1	-2	1	-		
器具販売等収支	27	29	-2	-7.2%		
営業雑収支	25	27	-2	-7.0%		
附帯事業収支	51	35	16	41.8%	LNG販売+10億円、電力販売+3億円 他	
営業利益	489	359	130	36.1%		
営業外収支	40	22	18	77.7%	為替レート差損益+14億円、受取配当金+7億円 他	
経常利益	529	381	148	38.6%		
特別利益	12	-	12	-	固定資産売却益+12億円	
特別損失	5	-	5	-	関係会社投資有価証券評価損+5億円	
法人税等	149	121	28	22.3%		
当期純利益	387	259	128	49.2%		

### 諸経費

	FY14 1Q	FY13 1Q	増減		
修繕費	77	89	-12	-13.8%	ガス栓対策引当▲13億円 他
消耗品費	36	35	1	3.8%	
賃借料	46	48	-2	-2.4%	
委託作業費	162	157	5	3.2%	消費税改正対応+5億円 他
租税課金	119	113	6	5.1%	売上高増に伴う事業税増+6億円 他
需要開発費	37	37	0	-0.9%	
その他	83	81	2	2.3%	

## 個別営業主要計数(14年度 対 13年度)

### 第1四半期実績

お客さま件数

千件

	FY14 1Q	FY13 1Q	増減	
お客さま件数	10,834	10,696	138	1.3%
新設件数	48	43	5	11.1%

個別ガス販売実績

百万m3

	FY14 1Q	FY13 1Q	増減			
家庭用1件当り販売量(m3)	88.1	89.6	-1.5	-1.7%	気温影響▲1.4m3(▲1.6%)、日数差▲0.6m3(▲0.7%)、その他+0.5m3(+0.6%)	
家庭用	808	810	-2	-0.2%	気温影響▲13百万m3(▲1.6%)、日数差▲6百万m3(▲0.7%)、件数差+12百万m3(+1.5%)、その他+5百万m3(+0.6%)	
業務用	商業用	381	391	-10	-2.6%	
	その他用	180	176	4	2.5%	
	業務用計	561	567	-6	-1.0%	気温影響+7百万m3(+1.2%)、日数差▲6百万m3(▲1.1%)、その他▲7百万m3(▲1.1%)
工業用	発電専用	982	720	262	36.4%	
	発電専用以外	732	718	14	1.9%	
	工業用計	1,714	1,438	276	19.2%	
	計	2,275	2,005	270	13.5%	
卸供給	523	519	4	0.6%	気温影響▲1百万m3(▲0.2%)、卸先需要家の稼働増+5百万m3(+0.8%)	
合計	3,605	3,334	271	8.1%	気温影響▲7百万m3(▲0.2%)、発電専用+262百万m3(+7.9%)、工業用(発電専用以外)+14百万m3(+0.4%)、卸供給(気温影響除き)+5百万m3(+0.1%)、その他▲3百万m3(▲0.1%)	
(内大口供給)	1,957	1,685	272	16.1%		

## 連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳

### 営業キャッシュフロー

第1四半期実績（14年度 対 13年度） 億円

連結	FY14	FY13	増減	
当期純利益	447	260	187	71.8%
減価償却	336	324	12	3.7%
営業CF(当期純利益+減価償却)	783	584	199	34.1%

個別	FY14	FY13	増減	
当期純利益	387	259	128	49.2%
減価償却	253	243	10	4.1%
営業CF(当期純利益+減価償却)	640	502	138	27.5%

### 設備投資内訳

第1四半期実績（14年度 対 13年度） 億円

	FY14	FY13	増減	
製造設備	64	32	32	99.9%
供給設備	204	180	24	13.3%
業務設備他	14	18	-4	-24.2%
連結子会社設備投資*	105	571	-466	-81.6%
計	388	803	-415	-51.6%

製造設備 : 日立LNG基地関連他+32億円

供給設備 : 安定供給関連+15億円、保安関連他+9億円

業務設備他 : その他業務設備他▲4億円

連結子会社 : TGバーネット他

\*上記表の「連結子会社設備投資」には連結相殺含む

# 見通し編

## 個別 経済フレーム及び年度収支影響感度

### 経済フレーム

	FY14今回見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	109.52	110.00	109.88	\$/bbl
為替レート	102.17	105.00	104.29	円/\$
	FY14当初4/28見通し			
	上期	下期	年度	
原油価格	110.00	110.00	110.00	\$/bbl
為替レート	105.00	105.00	105.00	円/\$
	増減			
	上期	下期	年度	
原油価格	-0.48	0.00	-0.12	\$/bbl
為替レート	-2.83	0.00	-0.71	円/\$

### 原油価格変動の年度収支影響感度

億円

	1\$/bbl	2Q	3Q	4Q	年度
売上高		▲ 22	▲ 9	0	▲ 31
原料		▲ 21	▲ 23	▲ 6	▲ 50
粗利		▲ 1	14	6	19

※油価が1\$下がった場合の収支影響額

### 為替レート変動の年度収支影響感度

億円

	1円/\$	2Q	3Q	4Q	年度
売上高		▲ 23	▲ 26	▲ 7	▲ 56
原料		▲ 23	▲ 24	▲ 24	▲ 71
粗利		0	▲ 2	17	15

※為替が1円円高になった場合の収支影響額



## 連結 主要決算数値(最新見通し対当初見通し)

通期見通し

	億円				第2四半期見通し				
	FY14	FY14当初	増減	備考	FY14	FY14当初	増減	備考	
売上高	22,880	22,980	▲ 100	▲0.4%	都市ガス▲76億円(販売単価減)、電力▲12億円(販売単価減)、	10,330	10,430	▲ 100	▲1.1%
営業利益	1,330	1,300	30	2.3%	都市ガス+17億円(原料費減)	630	610	20	3.3%
経常利益	1,260	1,230	30	2.4%		620	600	20	3.3%
当期純利益	970	940	30	3.2%	特別損益+8(固定資産売却益の増+13、投資有価証券評価損の増▲5)	530	500	30	6.0%
総資産	22,320	22,260	60	0.3%					
自己資本	10,360	10,300	60	0.6%	当期純利益増加により利益剰余金増加				
自己資本比率 (%)	46.4%	46.3%	0.1%	-					
総資本回転率 (回転)	1.04	1.04	▲ 0.01	-					
ROA(*2) (%)	4.4%	4.3%	0.1%	-					
ROE(*2) (%)	9.5%	9.2%	0.3%	-					
有利子負債残高	7,710	7,730	▲ 20	▲0.3%	東京ガス▲77				
D/Eレシオ	0.74	0.75	▲ 0.01	-					
当期純利益	970	940	30	3.2%					
減価償却(*3・4)	1,420	1,420	0	0.0%					
営業キャッシュ・フロー(*1)	2,390	2,360	30	1.3%					
設備投資(*3)	2,370	2,370	0	-					
TEP	244	233	11	4.7%					
(WACC)	3.5%	3.6%	▲0.1%	-					
1株当たり当期純利益 (円/株)	39.62	38.14	1.49	3.9%	当期純利益増により増加				
1株当たり純資産 (円/株)	424.52	423.66	0.86	0.2%					
総分配性向(*5)	(*6) -	-	-	-					

(\*1)営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書値ではなく「当期純利益+減価償却」で定義した簡便法で算定

(\*2)ROA・ROE算定の総資産・自己資本は前期末・当期末の平均値

(\*3)設備投資・減価償却は内部取引相殺後額

(\*4)減価償却には長期前払費用償却を含む

(\*5)n年度総分配性向 = ((n年度の年間配当金総額)+(n+1年度の自社株取得額))÷(n年度連結当期純利益)

(\*6)2020年度に至るまで各年度6割程度とします

# 個別 主要決算数値(最新見通し対当初見通し)

## 上期見通し

億円

### 料金スライドの収支への影響

### 経済フレーム

	FY14	FY14当初	増減	
総売上高	9,440	9,550	-110	-1.2%
営業利益	480	470	10	2.1%
経常利益	520	500	20	4.0%
当期純利益	440	420	20	4.8%

	FY14	FY14当初	増減
料金によるスライド回収	350	400	-50
原料費の増加分	246	353	-107
差し引き	104	47	57

	FY14	FY14当初	増減
原油価格	109.52	110.00	-0.48 \$/bbl
為替レート	102.17	105.00	-2.83 円/\$

金額は基準価格に対する増減額

億円

	FY14	FY14当初	増減			
製品売上高(ガス売上高)	7,180	7,260	-80	-1.1%	数量・料金構成差▲30億円、単価差▲50億円	
営業費用	原材料費	4,795	4,884	-89	-1.8%	数量・原料構成差+18億円、単価差▲107億円(為替影響=▲67、油価影響=▲8)
	(粗利)	(2,385)	(2,376)	(9)	(0.4%)	数量・構成差▲48億円、単価差+57億円
	諸給与	433	435	-2	-0.5%	
	諸経費	1,144	1,137	7	0.6%	詳細は下表参照
	減価償却費	498	498	0	-	
	LNG受託加工費	-23	-23	0	-	
計	6,847	6,931	-84	-1.2%		
受注工事収支	-1	-1	0	-		
器具販売等収支	54	52	2	3.8%		
営業雑収支	53	51	2	3.9%		
附帯事業収支	94	90	4	4.4%	LNG販売+4億円 他	
営業利益	480	470	10	2.1%		
営業外収支	40	30	10	33.3%	関係会社受取配当金+5億円、専用設備料収入+3億円 他	
経常利益	520	500	20	4.0%		
特別利益	92	80	12	15.0%	固定資産売却益+12億円	
特別損失	5	0	5	-	関係会社投資有価証券評価損+5億円	
法人税等	167	160	7	4.4%		
当期純利益	440	420	20	4.8%		

### 諸経費

	FY14	FY14当初	増減		
修繕費	165	161	4	2.5%	本支管修繕費+3億円 他
消耗品費	72	72	0	0.0%	
賃借料	90	91	-1	-1.1%	
委託作業費	318	320	-2	-0.6%	
租税課金	230	230	0	0.0%	
需要開発費	87	87	0	0.0%	
その他	182	176	6	3.4%	本支管除却費+2億円、電力料+2億円 他

## 個別 営業主要計数(最新見通し対当初見通し)

### 上期見通し

お客さま件数

千件

	FY14	FY14当初	増減	
お客さま件数	10,862	10,854	8	0.1%
新設件数	97	91	6	6.6%

ガス販売量内訳

百万m3

		FY14	FY14当初	増減		
家庭用1件当り販売量(m3)		134.0	139.0	-5.0	-3.6%	気温影響▲5.6m3(▲4.0%)、日数差▲0.3m3(▲0.2%)、その他+0.9m3(+0.6%)
家庭用		1,229	1,272	-43	-3.4%	気温影響▲51百万m3(▲4.0%)、日数差▲3百万m3(▲0.2%)、件数差+3百万m3(+0.2%)、その他+8百万m3(+0.6%)
業務用	商業用	835	835	0	0.0%	
	その他用	429	442	-14	-3.1%	
業務用計		1,264	1,278	-14	-1.1%	気温影響▲2百万m3(▲0.2%)、その他▲12百万m3(▲0.9%)
工業用	発電専用	1,997	1,832	166	9.0%	
	発電専用以外	1,507	1,599	-93	-5.8%	
工業用計		3,504	3,431	73	2.1%	
計		4,768	4,709	59	1.3%	
卸供給		1,041	1,047	-6	-0.6%	気温影響▲4百万m3(▲0.4%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲2百万m3(▲0.2%)
合計		7,038	7,028	9	0.1%	気温影響▲57百万m3(▲0.8%)、発電専用+166百万m3(+2.3%)、工業用(発電専用以外)▲93百万m3(▲1.3%)、卸供給(気温影響除き)▲2百万m3(▲0.0%)、その他▲5百万m3(▲0.1%)
(内大口供給)		4,319	4,262	57	1.3%	

## 個別 主要決算数値(最新見通し対当初見通し)

### 通期見通し

億円

	FY14	FY14当初	増減	
総売上高	20,800	20,910	-110	-0.5%
営業利益	980	960	20	2.1%
経常利益	1,030	1,000	30	3.0%
当期純利益	810	780	30	3.8%

### 料金スライドの収支への影響

	FY14	FY14当初	増減
料金によるスライド回収	819	902	-83
原料費の増加分	786	914	-128
差し引き	33	-12	45

金額は基準価格に対する増減額

### 経済フレーム

	FY14	FY14当初	増減
原油価格	109.88	110.00	-0.12 \$/bbl
為替レート	104.29	105.00	-0.71 円/\$

億円

	FY14	FY14当初	増減			
製品売上高(ガス売上高)	15,900	15,980	-80	-0.5%	数量・料金構成差+3億円、単価差▲83億円	
営業費用	原材料費	10,853	10,947	-94	-0.9%	数量・原料構成差+34億円、単価差▲128億円(為替影響=▲68、油価影響=▲9)
	(粗利)	(5,047)	(5,033)	(14)	(0.3%)	数量・構成差▲31億円、単価差+45億円
	諸給与	870	872	-2	-0.2%	
	諸経費	2,453	2,453	0	-	詳細は下表参照
	減価償却費	1,029	1,029	0	-	
	LNG受託加工費	-46	-46	0	-	
計	15,159	15,255	-96	-0.6%		
受注工事収支	4	6	-2	-33.3%		
器具販売等収支	83	80	3	3.8%		
営業雑収支	87	86	1	1.2%		
附帯事業収支	152	149	3	2.0%		
営業利益	980	960	20	2.1%		
営業外収支	50	40	10	25.0%	関係会社受取配当金+4億円、専用設備料収入+2億円 他	
経常利益	1,030	1,000	30	3.0%		
特別利益	92	80	12	15.0%	固定資産売却益+12億円	
特別損失	5	0	5	-	関係会社投資有価証券評価損+5億円	
法人税等	307	300	7	2.3%		
当期純利益	810	780	30	3.8%		

### 諸経費

	FY14	FY14当初	増減		
修繕費	350	350	0	0.0%	
消耗品費	148	149	-1	-0.7%	
賃借料	178	178	0	0.0%	
委託作業費	648	649	-1	-0.2%	
租税課金	477	477	0	0.0%	
需要開発費	231	232	-1	-0.4%	
その他	421	418	3	0.7%	電力料+5億円 他

## 個別 営業主要計数(最新見通し 対 当初見通し)

### 通期見通し

#### お客さま件数

千件

	FY14	FY14当初	増減	
お客さま件数	10,936	10,935	1	0.0%
新設件数	212	212	0	0.0%

#### ガス販売量内訳

百万m3

		FY14	FY14当初	増減		
家庭用1件当たり販売量(m3)		364.1	369.3	-5.2	-1.4%	気温影響▲5.5m3(▲1.5%)、日数差▲0.4m3(▲0.1%)、その他+0.7m3(+0.2%)
家庭用		3,351	3,390	-40	-1.2%	気温影響▲51百万m3(▲1.5%)、日数差▲2百万m3(▲0.1%)、件数差+6百万m3(+0.2%)、その他+7百万m3(+0.2%)
業務用	商業用	1,723	1,727	-4	-0.2%	
	その他用	887	903	-16	-1.8%	
業務用計		2,610	2,630	-20	-0.8%	気温影響▲2百万m3(▲0.1%)、件数差異+9百万m3(+0.3%)、その他▲27百万m3(▲1.0%)
工業用	発電専用	3,841	3,569	272	7.6%	
	発電専用以外	3,047	3,201	-154	-4.8%	
工業用計		6,888	6,770	119	1.8%	
計		9,498	9,400	99	1.1%	
卸供給		2,271	2,278	-7	-0.3%	気温影響▲4百万m3(▲0.2%)、卸先需要家の既存物件稼働減▲3百万m3(▲0.1%)
合計		15,120	15,068	52	0.3%	気温影響▲57百万m3(▲0.4%)、発電専用+272百万m3(+1.8%)、工業用(発電専用以外)▲154百万m3(▲1.0%)、卸供給(気温影響除き)▲3百万m3(▲0.0%)、その他▲6百万m3(▲0.1%)
(内大口供給)		8,539	8,442	97	1.2%	

## 連結 営業キャッシュフロー 及び 設備投資内訳

上期見通し (今回 対 当初4/28時点) 億円

連結	FY14	FY14当初	増減	
当期純利益	530	500	30	6.0%
減価償却	690	690	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,220	1,190	30	2.5%

個別	FY14	FY14当初	増減	
当期純利益	440	420	20	4.8%
減価償却	514	514	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	954	934	20	2.1%

通期見通し (今回 対 当初4/28時点) 億円

連結	FY14	FY14当初	増減	
当期純利益	970	940	30	3.2%
減価償却	1,420	1,420	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	2,390	2,360	30	1.3%

個別	FY14	FY14当初	増減	
当期純利益	810	780	30	3.8%
減価償却	1,063	1,063	0	0.0%
営業CF(当期純利益+減価償却)	1,873	1,843	30	1.6%

上期見通し (今回 対 当初4/28時点) 億円

	FY14	FY14当初	増減	
製造設備	177	177	0	0.0%
供給設備	418	407	11	2.7%
業務設備他	62	72	-10	-13.6%
連結子会社設備投資*	333	334	-1	-0.3%
計	990	990	0	0.0%

供給設備 : 安定供給関連+5億円、その他供給設備他+6億円  
業務設備他 : その他業務設備他▲10億円

通期見通し (今回 対 当初4/28時点) 億円

	FY14	FY14当初	増減	
製造設備	353	353	0	0.0%
供給設備	1,000	1,000	0	0.0%
業務設備他	244	250	-6	-2.3%
連結子会社設備投資*	773	766	7	0.9%
計	2,370	2,370	0	0.0%

業務設備他 : その他業務設備他▲6億円

\*上記2表の「連結子会社設備投資」には連結相殺含む

# 東京ガス株式会社

## <見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的  
事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られ  
た東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるこ  
とをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価  
格の動向、気温の変動、円ドルの為替相場、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東  
京ガスの対応等があります。